

目的 前におむつの尿汚れの除去に関し報告したので今回は大便汚れについて便汚染布とビリルビンによる人工便汚染布を用い、主として浸漬洗いにより、石けん、AOS, LAS, その他添加剤による除去効果を検討し、大便汚れを除去する効率よい洗浄方法を明らかにする糸口を見い出したいと考えた。

方法 汚染布：④生後7~9ヶ月の人工栄養児の便を付着した便汚染布、⑤ビリルビン人工便汚染布。一定面積の④、⑤汚染布を1枚の輪形のおむつに付け使用。

洗剤・漂白剤：市販おむつ洗い洗剤、石けん、AOS, LAS, 過炭酸ナトリウム等。

洗浄処理：浴比1:10, 使用指示濃度または0.2%の液中(30℃)に1, 3, 6時間浸漬後、洗濯機ですすぎ(浴比1:30, 1分間), 脱水(1分間)を2回くり返し乾燥を行なった。

除去効果判定：東京電色PHOTOVOLT REFLECT METER TC-6E(Bフィルター)により、各汚染布の洗浄前後の反射率を測定し除去効率を求めた。

結果

- 洗剤なしでは、両汚染布の浸漬時間による除去効率変化は同じ傾向であった。
- 便汚染布に類似した反射率の人工便汚染布は便汚染布に比べ著しく除去効率が低く、同程度の除去効率を示す人工便汚染布は反射率40±2%前後のものであった。
- 各洗剤・漂白剤には、その除去効果が浸漬時間に影響を受ける、受けないなどの特徴がみられたが、それは人工便汚染布において顕著であった。
- ビリルビンの除去効率は石けんが最大で、石けんは、脂肪酸、配合剤の種類により除去効率に影響を受けた。